

2021年3月期 決算説明資料

(2020年4月1日～2021年3月31日)

株式会社 精工技研

決算発表日：2021年5月14日

- I. 2021年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開
- III. 2022年3月期 連結業績見通し

- I. 2021年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開
- III. 2022年3月期 連結業績見通し

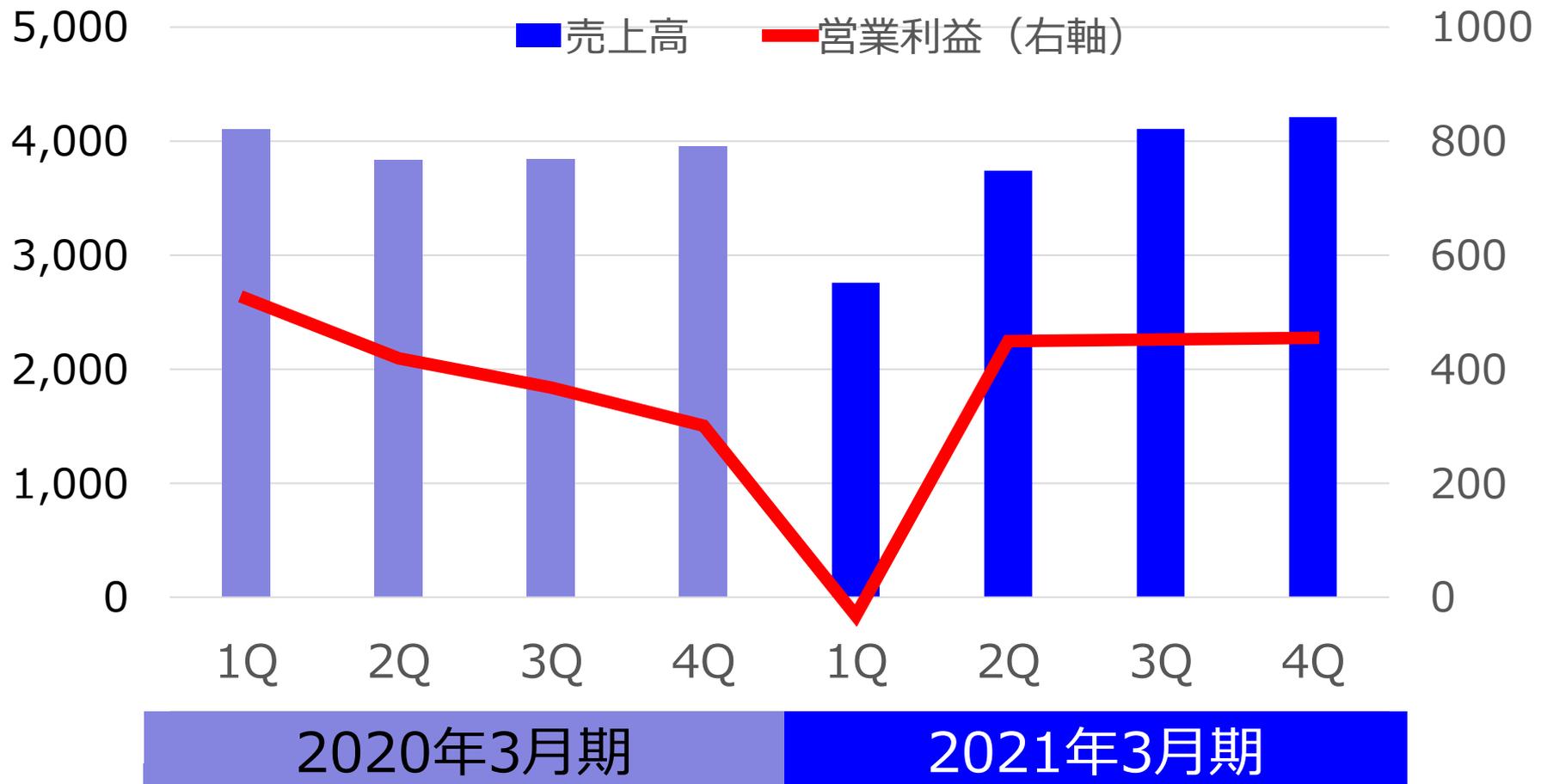
2021年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2021年3月期	2020年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2020/5/12)
売上高	14,818	15,729	△5.8%	15,420
精機部門	8,675	8,808	△1.5%	8,470
光製品部門	6,142	6,921	△11.3%	6,950
営業利益	1,324	1,614	△17.9%	1,500
経常利益	1,431	1,688	△15.2%	1,580
当期純利益	983	1,152	△14.7%	1,000

連結損益 四半期推移

■ 第1四半期はコロナの影響 第2四半期以降は回復

(百万円)



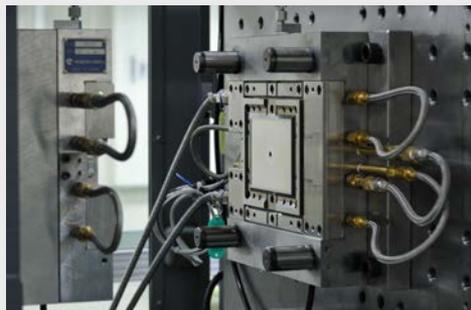
2021年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2021年3月期	2020年3月期	対前期増減率
受注高	15,269	15,803	△3.4%
受注残	2,974	2,522	+17.9%
設備投資	869	1,721	△49.5%
減価償却費	1,542	1,481	+4.1%
研究開発費	403	470	△14.2%

精機部門／主要製品・主要技術

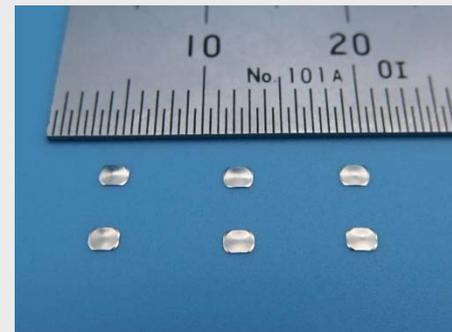
◆ 金型

アーカイブディスク用金型
 その他 精密金型



◆ 成形品

車載用インサート成形部品
 金属プレス成形部品
 樹脂射出成形部品 等



◆ その他

精密金属加工部品 等

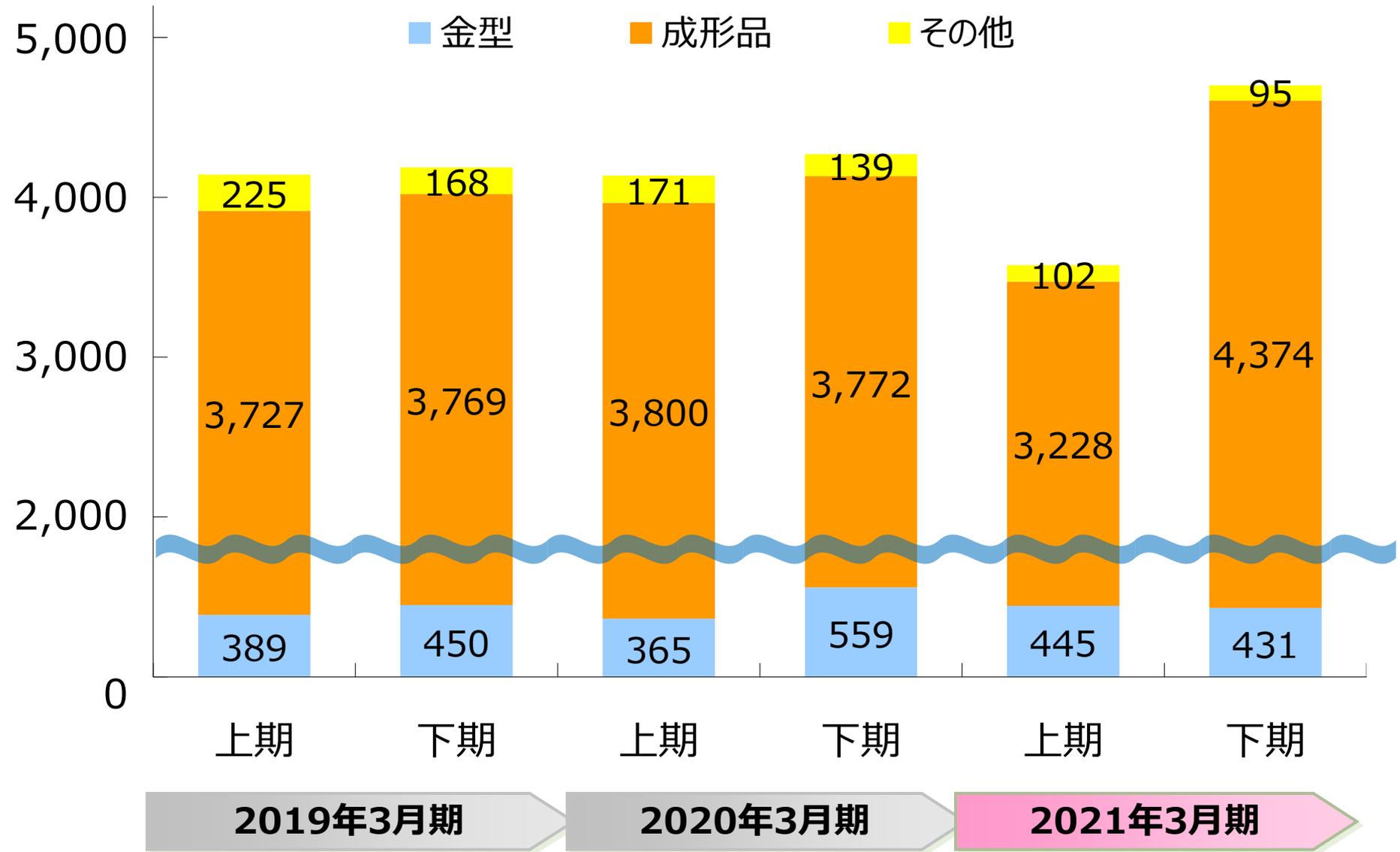


精機部門／セグメント業績

(百万円)	2021年3月期	2020年3月期	対前期増減率
売上高	8,675	8,808	△1.5%
営業費用	8,023	7,999	+0.3%
営業利益	652	809	△19.4%
営業利益率	7.5%	9.2%	—

精機部門／製品別売上高

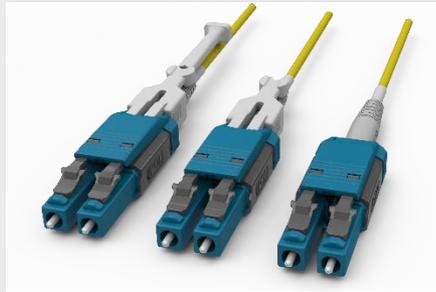
百万円



光製品部門／主要製品・主要技術

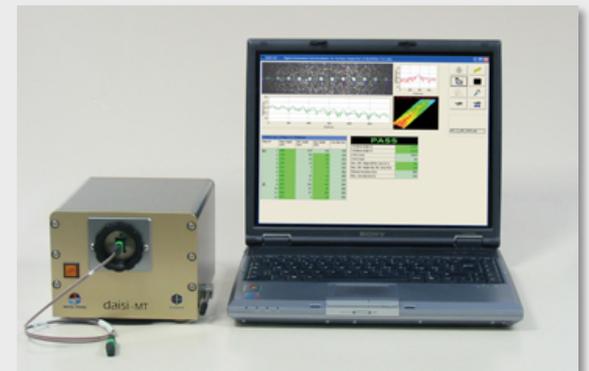
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



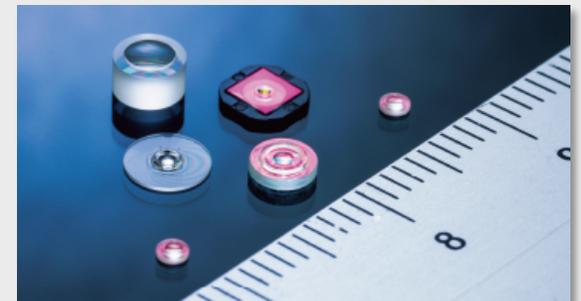
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

超小型レンズ 等



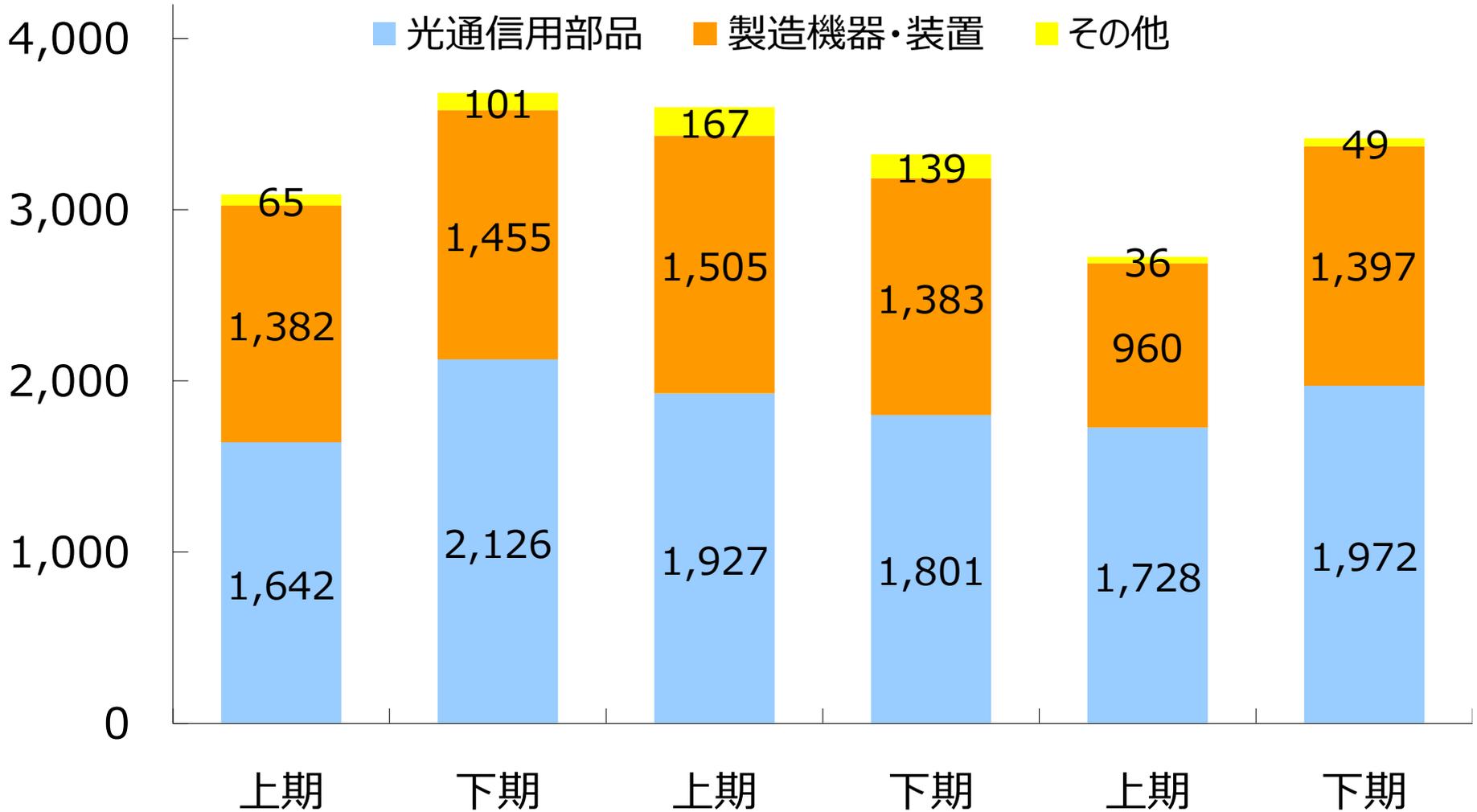
光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2021年3月期	2020年3月期	対前期増減率
売上高	6,142	6,921	△11.3%
営業費用	5,470	6,117	△10.6%
営業利益	672	804	△16.5%
営業利益率	10.9%	11.6%	—

光製品部門／製品別売上高

百万円

■ 光通信用部品 ■ 製造機器・装置 ■ その他



2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期

連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2021年3月期	2020年3月期	増減額
流動資産	19,026	17,339	+ 1,687
固定資産	9,939	10,405	△465
資産合計	28,966	27,744	+ 1,221
<負債及び純資産の部>			
流動負債	3,375	2,950	+ 425
固定負債	1,376	1,265	+ 111
純資産	24,213	23,528	+ 685
負債純資産合計	28,966	27,744	+ 1,221

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2021年3月期	2020年3月期
営業キャッシュ・フロー	2,374	2,225
投資キャッシュ・フロー	△626	△1,752
財務キャッシュ・フロー	△411	△685
現金増加額	1,327	△265
期首残高	3,550	3,816
期末残高	4,877	3,550

- I. 2021年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開**
- III. 2022年3月期 連結業績見通し

中期経営計画 マスタープラン2016

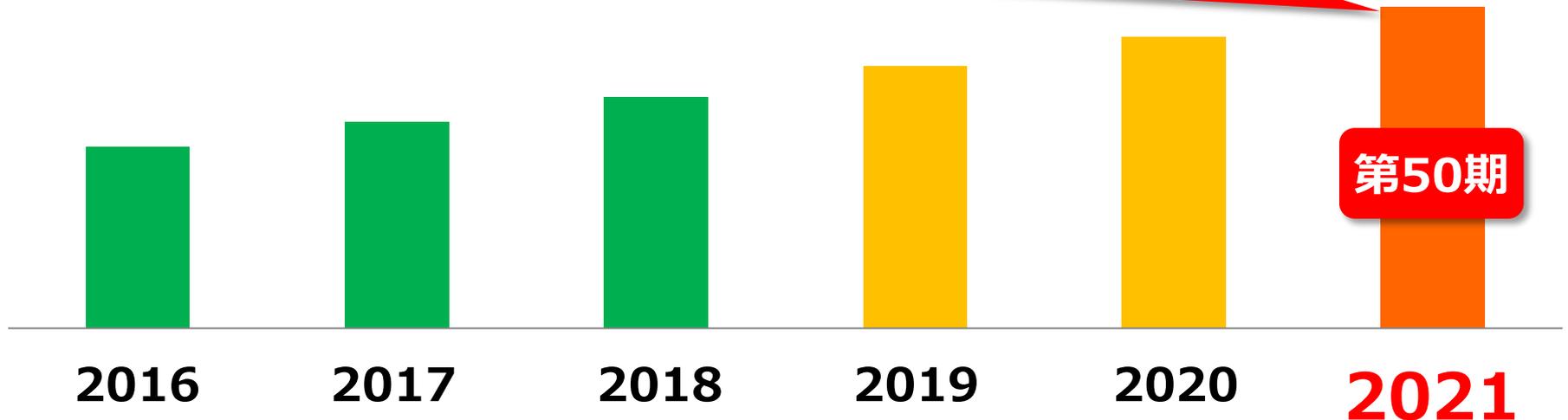
- 第50期となる2021年度を最終年度とする6ヶ年中期計画

マスタープラン2016
2016年度～2021年度

第1フェーズ
2016～2018

第2フェーズ
2019～2021

連結売上高 250億円 連結営業利益 25億円以上



第2フェーズの基本戦略

1 既存事業の収益力強化

- 販売力の強化
- 価格競争力の強化
- 新製品・新技術開発の加速

2 事業ポートフォリオの最適化

- 次世代事業の創出
- 不採算事業の合理化

3 経営基盤の強化

- コーポレート機能の強化
- 成長への投資
- 品質管理・特許戦略の強化

当社の技術資源（内部環境）

■ 精密加工 ・ 精密成形 ・ 光学技術

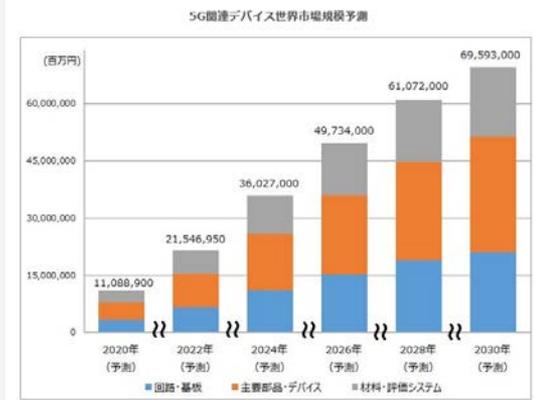
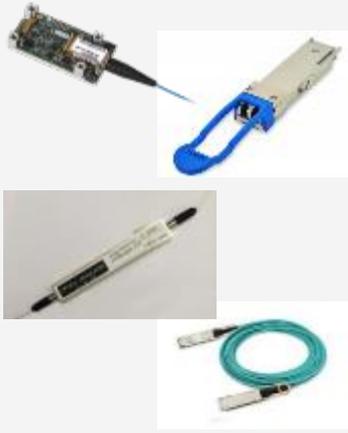


- 情報・通信
- 自動車
- 医療・バイオ



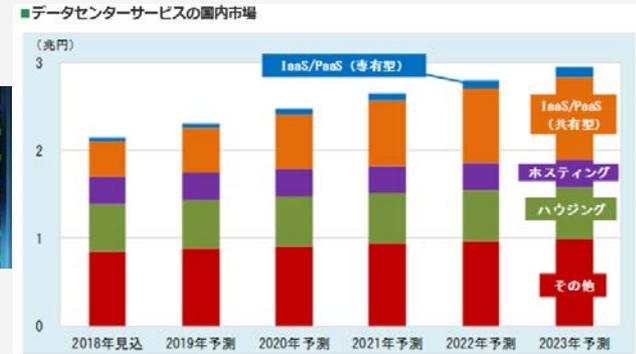
関連市場の見通し（外部環境）

■ 5G関連市場の拡大



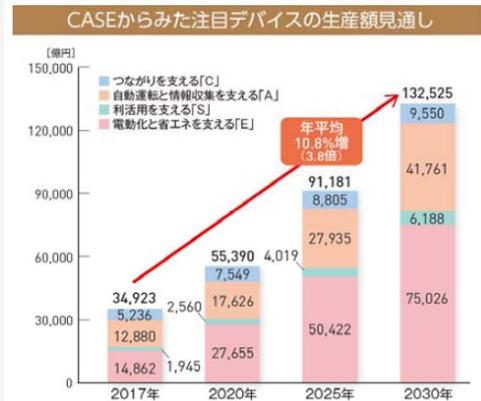
(出典：矢野経済研究所)

■ データセンター市場の拡大



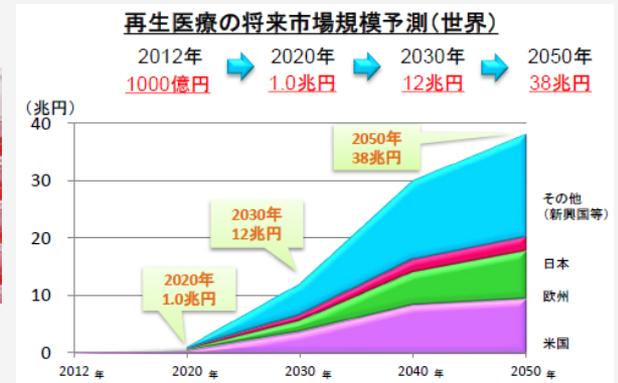
(出典：データセンタービジネス市場調査総覧 2019年版 (富士キメラ総研))

■ CASEによる自動車デバイス市場の拡大



(出典：一般社団法人電子情報技術産業協会)

■ 医療・バイオ関連市場の拡大



(出典：経済産業省)

1 既存事業の収益力強化

■ 精機事業

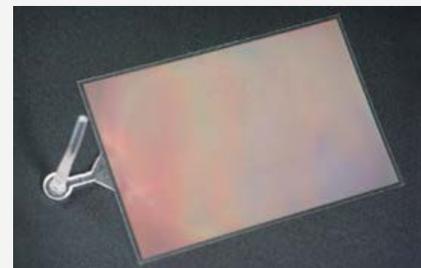
精密金型と生産技術を核に、付加価値の高い成形品ビジネスへ

■ 販売力の強化・価格競争力の強化

- ・ 新規顧客との商談加速
- ・ 既存主要顧客との関係強化
- ・ プレス成形品の市場開拓
- ・ リピートビジネスの開拓
- ・ 生産リードタイムの短縮

■ 新製品・新技術開発の加速

- ・ 精密成形品新規ビジネスの加速
⇒ 自動車関連、医療バイオ関連
- ・ 精密金型技術、薄肉成形技術、
微細転写技術の向上
- ・ 生産自動化（FA）技術の向上



1 既存事業の収益力強化

■ 光製品事業

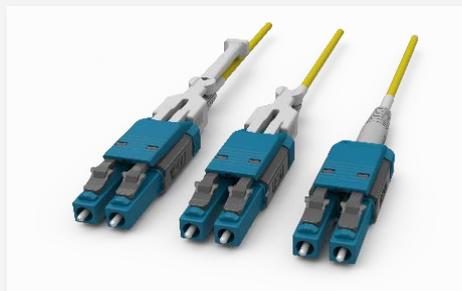
成長するデータセンターと5G関連市場でシェア拡大を図る

■ 販売力の強化・価格競争力の強化

- ・ データセンター向けコネクタの拡販
- ・ 新型コネクタ
「Intelli-Cross Pro」の拡販
- ・ 5G対応の光電界センサー拡販
- ・ 超小型レンズの拡販

■ 新製品・新技術開発の加速

- ・ 100G、400G大容量高速通信
対応光デバイスの量産化
- ・ 研磨機、端面検査装置の改良
- ・ 光通信用部品の生産自動化装置
の開発

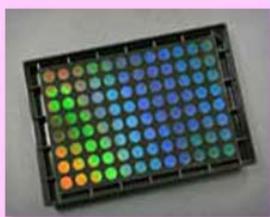


2 事業ポートフォリオの最適化

成長期待事業



レンズ



精密成形品

Growth

成長牽引事業



光通信用部品



情報／通信



医療機器／バイオ



カーエレクトロニクス

次世代事業

Cash

「レンズ」と「精密成形品」を
「成長牽引事業」へ引き上げる
資金を積極的に活用し、
「次世代事業」を創出する

3 経営基盤の強化

■ コーポレート機能の強化 ～ 持続的な成長を支える強固な基盤を確立 ～

- ・ 人財力の強化 ⇒ 事業拡大、グローバル化に対応する人材育成、採用
- ・ IT戦略 ⇒ 業務効率を最大化するシステム投資、グループ全体の情報システムの最適化
- ・ 財務戦略 ⇒ 予算実績管理の強化、新会計基準の適用
- ・ コミュニケーション強化 ⇒ 社外広報強化による会社知名度向上
グループ内の連携強化によるシナジー創出
- ・ サステナブル ⇒ グループとしてのガバナンス強化、BCPによる事業継続リスク軽減

■ 成長への投資 ～ 2021年度までに100億円規模の投資枠 ～

- ・ M&Aの強化 ⇒ 新たな技術、新たな商材、新たな商圏の獲得
- ・ R&Dの強化 ⇒ アライアンス、産学連携等の推進による開発加速

■ 品質管理・特許戦略の強化 ～ 信頼される品質と特許による差別化 ～

- ・ グループトータルでの品質レベルの向上 ⇒ 不良ゼロへの取り組み強化
- ・ より積極的な特許戦略 ⇒ “守る”ための特許と“攻める”ための特許の戦略活用

- I. 2021年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開
- III. 2022年3月期 連結業績見通し**

2022年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	22/3月期 見通し	21/3月期 実績
売上高	7,920	8,970	16,890	14,818
営業利益	720	830	1,550	1,324
経常利益	780	860	1,640	1,431
当期純利益	500	600	1,100	983
設備投資			1,693	869
減価償却費			1,312	1,542
研究開発費			407	403

2022年3月期 連結業績見通し (部門別)

(百万円)	上半期	下半期	22/3月期 見通し	21/3月期 実績
精機関連				
売上高	4,370	4,730	9,100	8,675
営業費用	4,140	4,470	8,610	8,023
営業利益	230	260	490	652
光製品関連				
売上高	3,550	4,240	7,790	6,142
営業費用	3,060	3,670	6,730	5,470
営業利益	490	570	1,060	672

新収益認識基準 適用による影響

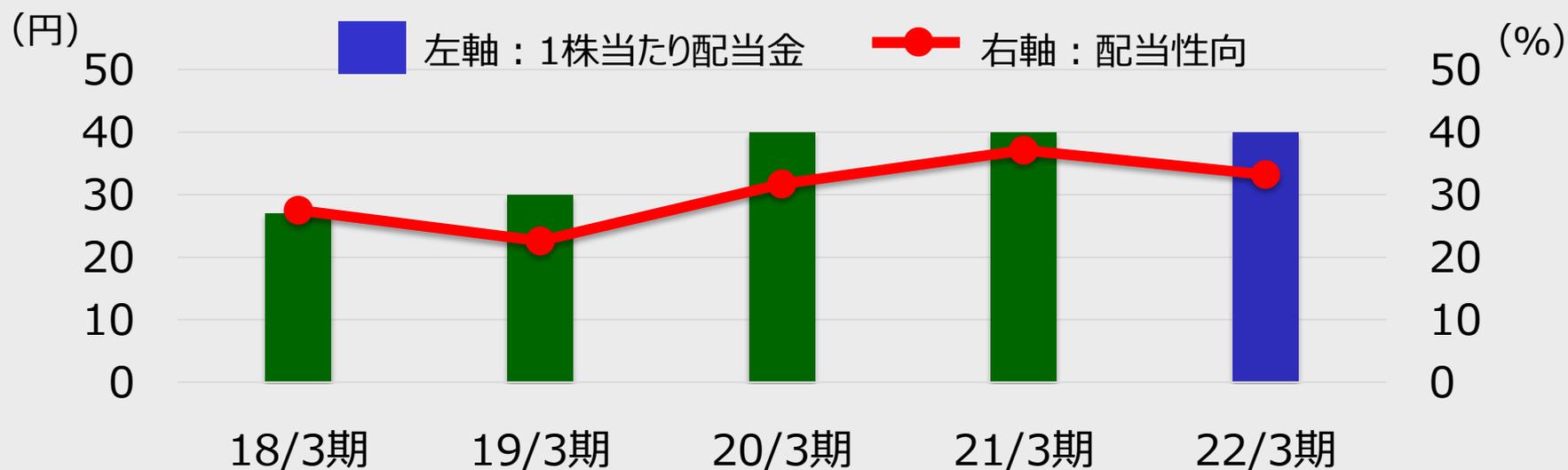
(百万円)	有償受給品の 純額表示	金型・設備の 売上・原価の一括認識
通期 売上高	△1,300	+100
売上原価	△1,300	+200
売上総利益	0	△100

◆ 旧会計基準による 2022年3月期 連結業績見通し

(百万円)	精機関連	光製品関連	22/3月期 旧会計基準	22/3月期 新会計基準
売上高	10,300	7,790	18,090	16,890
営業利益	590	1,060	1,650	1,550

株主還元について

		22/3月期 見通し	21/3月期 予定	20/3月期 実績
当期純利益	百万円	1,100	983	1,152
1株当たり配当金	円	40	40	40
配当性向	%	33.2	37.1	31.8



ご清聴 ありがとうございます。